



# 貸出状況

新ひだか町図書館に探している本が無かったとしても、図書館スタッフが北海道立図書館のポータルサイトを通じて道内各地の図書館から探してくれます。※東北6県以南は送料がかかります。

日高管内図書館の蔵書数など(R3.4.1現在) ※1人当たり貸出冊数順

	人口 (R3.1.1)	蔵書数	貸出冊数	1人当たり 貸出冊数
浦河町	11,998人	161,211冊	108,136冊	9.01冊
日高町	11,647人	133,972冊	79,892冊	6.86冊
新冠町	5,392人	76,779冊	33,361冊	6.19冊
新ひだか町	21,872人	126,284冊	98,187冊	4.49冊
様似町	4,125人	76,863冊	15,245冊	3.70冊
平取町	4,785人	78,721冊	17,222冊	3.60冊
えりも町	4,516人	28,635冊	4,273冊	0.95冊

道内類似人口図書館の蔵書数など(R3.4.1現在) ※人口貸出冊数順

	人口 (R3.1.1)	蔵書数	貸出冊数	1人当たり 貸出冊数
中標津町	23,203人	106,846冊	83,933冊	3.62冊
紋別市	21,317人	141,811冊	72,069冊	3.38冊
美瑛市	20,504人	163,216冊	50,911冊	2.48冊
留萌市	20,257人	98,178冊	60,720冊	3.00冊

※道立図書館ホームページ「北海道の図書館 統計 -令和3年4月1日現在」より抽出

一人当たり貸出冊数 道内1位

## 置戸町立図書館

- 人口 2,765人
- 蔵書数 122,127冊
- 貸出冊数 40,642冊
- ◎一人当たり 14.7冊

一人当たり貸出冊数 道内2位

## 新得町図書館

11.38冊

蔵書数および貸出冊数 道内1位

## 札幌市中央図書館

- 人口 1,961,575人
- ◎蔵書数 1,843,903冊
- ◎貸出冊数 2,602,438冊
- 一人当たり 1.32冊

蔵書数 道内2位

## 北海道立図書館

1,168,890冊

貸出冊数 道内2位

## 函館市中央図書館

997,171冊



新ひだか町図書館館長  
みほ 村田 美穂さん



図書館ホームページ QRコード

<http://www.shinhidaka-library.jp/>

「図書館」と聞いて皆さん何を思い浮かべられるでしょうか。薄暗く、本がぎっしりの高い本棚が並び、少し埃っぽい紙の匂いが漂う…そんなイメージをお持ちの方も多かもしれません。移転前の仮設図書館はそんな雰囲気もありましたが、今の本館・三石分館共に、築10年に満たない新しい施設で、明るく清潔感のある環境です。新聞・雑誌の閲覧コーナーや、えほんのへやなどゾーン分けもされており、ご家族で、またはお一人で、ゆったり快適に過ごしていただけていると思います。

図書館＝読書＝物語を読むこと、だと思われがちですが、図書館でできる事はそれだけではなくあります。暮らしの中でふと気になったこと、例えば、今日庭先で見た鳥の名前を調べるなんて身近な事から、世界や日本の時事ネタまで、幅広い情報を、本・雑誌、インターネットから得ることができます。日々の生活に役立つ図書館となるよう、職員一同努力してまいります。ぜひ一度お立ち寄りください。



## 明るくて清潔な図書館



「新型コロナ、外は寒いし」…。おうちで過ごす時間が増え「何しようかなあ」と考えている方がいましたら、図書館に行ってみるのは、どうでしょうか。

図書館は、図書以外にもDVD・CDの貸し出し・閲覧・視聴のほか、レファレンスサービス(調べもののお手伝い)、ハロウィン、節分など季節に合わせたユニークな読書イベントを開催するなど、さまざまな取り組みを行っています。

今回の特集では、図書館の裏側を交えながら、その利用法について紹介します。

日々の暮らしに役立つ新たな発見が、そこに待っているかも。



【問合せ】 新ひだか町図書館(本館) ☎ 42-4212

新ひだか町図書館(三石分館) ☎ 33-2051

### 除菌 BOX



紫外線で細菌やウイルスを除菌。  
本を入れたらボタンを押して45秒待つだけ。どなたでも簡単にご使用いただけます。

### Book start ブックスタート事業

絵本を介して心触れ合うひとときを持つきっかけをつくってもらうため、乳幼児健診のときに絵本を親御さんに手渡しています。絵本は保健師さんと話し合いながら決めていきます。

赤ちゃんは、体中のいろいろな感覚を使って絵本を楽しんでいます。心地の良いリズムの言葉や、変化のある色や形で描かれた絵本を、ママやパパが語りかけるように繰り返し読んであげてくださいね。



令和3年4月～令和4年2月末

### 新ひだか町図書館 ベストリーダーTOP 5

順位	書籍名	著者名
1	魂手形	宮部 みゆき
2	52ヘルツのクジラたち	町田 そのこ
2	白鳥とコウモリ	東野 圭吾
3	小説 8050	林 真理子
3	少年と犬	馳 星周
4	透明な螺旋	東野 圭吾
5	黒牢城	米澤 穂信
5	境界線	中山 七里

日高報知新聞は昭和44年から原紙を保存、北海道新聞は、原紙・縮刷版のほか、データベースからキーワードで記事を探せます。

### 蔵書の点検・整理

黙々と…蔵書点検  
腰が痛くなる作業です



### Arrange

学校図書館法では「学校には司書教諭のほか、学校司書を置くよう努めなければならない」と規定されています(第6条)。

### 子どもに寄り添う / 学校司書の派遣



### School



ビューン

### 移動図書館の運行



### Moving

多くの人に  
本を届けたい

図書館バスは、高静小、静内小、三石小、桜丘小、東静内小の町内5校を月1回程度巡回しています。学級文庫などの団体利用や児童個人での貸し出しを行っており、絵本や紙芝居、コミックも含め、約1700冊ある資料の中から、自由に選んでいただけます。

大型絵本の楽しい読み聞かせに夢中!  
12月三石分館 としょかんフェスティバル クリスマス



お気に入りのぬいぐるみが図書館1泊!  
11月本館 ぬいぐるみ おとまりかい



蔵書点検作業の休憩中は  
楽しく会話!



# 読みたい、知りたいを 届けるために

### この道20年のキャリア 熟練の技! 本の修理やコーティング

長く大切に  
使ってもらいたい

購入した本はコーティングされた状態で図書館に届きますが、寄贈された本はスタッフが一冊一冊丁寧に保護シールを貼っています。壊れたり破れたりした本は、専用のテープやのりで修理しています。



### Coating

とっても  
重要な仕事

### 図書館スタッフの腕の見せどころ! レファレンスサービス

読みたい、知りたいの  
お手伝い

レファレンスとは、皆さんからの質問・相談を受けて調べものに必要な資料を探すお手伝いをすることです。「どの棚にあるの」という簡単なものから、「わらじの作り方を調べたい」「江戸時代からの人口の推移を知りたい」など、ありとあらゆる難問に答えるためにも幅広い知識を要求される仕事です。

### Research



ハロウィンの仮装をし 館内を謎解き探索!  
10月三石分館 としょかんクエスト はまなすのぞ



### Event

企画会議中!



親子で楽しく工作(妖怪のヨーヨー)  
8月三石分館 としょかんフェスティバル よるの怪



### 季節に合わせた楽しいイベント/ イベントの企画・開催

本の楽しさを  
伝えたい

利用者の方に、「本の楽しさを知ってもらいたい」、「楽しく図書館を利用してもらいたい」という思いから、図書館では、本館・三石分館合わせて年10回ほどのさまざまなイベントを開催しています。

図書館スタッフは、皆さんに本を届けるため、たくさんの仕事をしています。カウンターでの仕事は、ほんの一部。本の並べ方や展示の工夫のほか、本の修理・コーティングや読書の楽しみを伝えるイベントの開催など。ここでは、そんな図書館スタッフの知られざる仕事の一部を紹介します。

図書カードを  
作ってね



※デザインが変更になる場合があります。

期間限定  
利用者カード  
を発行します！

4月23日から5月15日までの期間に開催する「どくしょりとり」(図書館にある本のタイトルでしりとり)で5冊読むと期間限定利用者カード(紙製)とグッズをプレゼントします。

「ねごさかな」シリーズの絵本は、必ず飛び出す仕掛けがあります。親子で楽しめます！



門脇 美千代さん  
- 本館カウンター -

比喩表現が好きな人は必見！



新井田 舞子さん - 学校司書 -

社会人になってから図書館司書の資格を取得し、図書館や町内の小・中学校で学校司書として働いています。自分のペースで楽しく働いています。

『レトリカ - 比喩表現辞典』  
榎谷 泰明／著 (白水社)



本を読んでいると、作家さんは実に多彩な例えをするなあと、いつも驚いてしまいます。この本は「比喩表現事典」というもので、世界中の文芸作品から比喩表現だけを集めてテーマごとにまとめた事典です。例えば【うれしさ】を調べてみると、「内に秘めたうれしさは、電球の光を手でおおうようなもの」ですから、どうしてもあちこちから、もれてきてしまいます。(星野富弘『かぎりなくやさしい花々』)と載っています。とっても素敵ですね。比喩表現が好きな人は必見です！

ネコは一体何を食べたの？



中島 有紀子さん - 学校司書 -

図書館が女性センターみらいにあったとき、職員の方にとても親切にしてもらい、こういう環境で働きたいと思いました。子どもと本をつなげていきたい。

『なにをたべたかわかる？』  
長 新太／著 (絵本館)



ネコが海で釣りをしていました。ネコは大きな魚を釣り上げて、それを担いで運びます。ネコが大きな魚を担いで歩いていると、ネズミが寄ってきました。すると魚がネズミを食べてしまいます。ネコはまったく気づかずに歩いていくと、次から次へと動物が寄ってきます。しかも、ウサギ、イヌ、タヌキと大きい動物も魚は食べてしまいます。最後にネコがこの魚を丸ごと食べてしまうのですが、さて、ネコは一体何を食べたのでしょうか。とても不思議なところが気に入っています。

タイトルそのままお薦め本



須甲 留美さん - 本館カウンター -

「本が好きで、本に関わる仕事をしたい」と思い司書の資格を取得。こうして仕事ができることに日々感謝しています。

『生きるとは、自分の物語をつくること』  
小川洋子／著 (新潮文庫)



タイトルがそのままお薦めのポイントです。それは誰にとっても当てはまることだから。誰が読んでもどこかしらきつとうなずく箇所に出合える一冊だと思います。タイトルから「何だか大仰で難しそうだな」と感じられるかもしれませんが内容は対談形式なので話したまま書かれており読みやすいです。作家の小川洋子先生と心理学者の河合隼雄先生の話が聞くように入ってきます。行間も広くゆったり取られて見やすくなっています。どなたにも読みやすい本だと思います。

不思議な百物語が詰まった本



佐藤 美智子さん - 本館カウンター -

教員免許取得の際に、本が好きで司書教諭の資格を取得。

『魂手形 三島屋変調百物語七之続』  
宮部みゆき／著 (KADOKAWA)



江戸の袋物屋 三島屋の黒白の間を訪れる客が語る不思議な話「変わり百物語」。シリーズ5冊までは、三島屋の姪「おちか」が聞き手です。自身におきた事件から少しずつ立ち直り、生きる事と向き合えるようになっていきます。6、7冊目の聞き手は、三島屋の次男・富次郎へと移っていきます。やはり死が身近にあった富次郎ですが「語って語り捨て、聞いて聞き捨て」の決まりにしている不思議な話を墨絵に書き、封じ込めます。怖くて、時には悲しく愛おしい、そんな不思議な百物語が詰まった本です。

好きな一冊

普段から本に囲まれて仕事をされている図書館スタッフの方に「あなたの好きな本を一冊教えてください」と聞いてみました。

「ニコラス どこにいったの？」  
たくさんあるしオ・シオーニさんの作品の中でも傑作の絵本です！



盛川 光さん  
- 本館カウンター -

司書を目指したきっかけ

小さい頃から本が好きで、本を読んでいるときは声をかけられても気付かないような子どもでした。図書館もよく通っていて、こんなところで働きたいと思い、中学生のときに司書を目指しました。

現在、三石分館で本の貸し出し・返却のほかに、選書や「図書館フェスティバル」などのイベントの企画、図書館や保育所での読み聞かせなどを行っています。企画したイベントに多くの方が参加してくれて「楽しかった」と言ってもらったときに、やりがいを感じます。

図書館にはマンガや雑誌、DVD・CDもあり貸し出しをしているので、読書が苦手な方にも楽しんでいただけたらと思います。おうち時間が増える中で、図書館を楽しく活用してみませんか。

好きな本

『ライオンと魔女 ナルニア国物語』  
クライブ・ステープルス・ルイス／著  
瀬田貞二／訳 (岩波書店)



図書館司書  
新山 恵美子さん  
- 三石分館 -

司書を目指したきっかけ

元々、全く別の仕事に就いていましたが、実家(北広島市)のそばに新しく図書館が建つことになったのをきっかけに、本が好きだった事と、新しいことに挑戦してみたいという気持ちがあり、大学に編入して司書資格を取得しました。その後、北広島市図書館で非常勤職員として働いていましたが、新ひだか町図書館の新設に伴う司書職員募集に応募しました。

新ひだか町図書館は、人と人、人と車椅子がすれ違いやすいよう、通路の幅を広くとっており、明るく広々としたフロアが特徴です。また、地域資料コーナーでは、新ひだか町の歴史や文学、馬・軽種馬関係の資料を広く収集しており、大人の方の調べものだけでなく、小学生のお子さんにも利用されています。

好きな本

『南の島に雪が降る』  
加東大介／著 (筑摩書房)



図書館司書  
佐々木 亜貴さん  
- 本館 -

